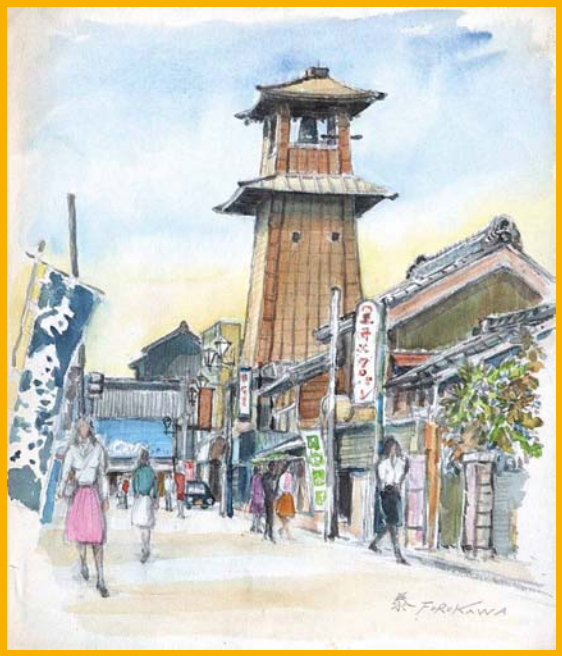
Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

No.1 1st July 2011



『Smart Rotaryを探して』

～継続できるロータリークラブとは～

＋

『ガンバレ！日本のロータリークラブ』

国際ロータリー第2570地区
2011-2012年度ガバナー　立原雅夫

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」

2011-12 年度には、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎日を送りたいと望んでいます。人に何かを与えようとするなら、まず自分自身にそれを与えることです。なぜなら、自らが抱く望みを理解せずして、人々の望みを理解することはできないからです。

全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。

自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強くなります。そして、強い家族を土台として、前進していくことができるのです。うちに強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです。

次年度には、ロータリーの奉仕において３つの強調事項に力を注いでいきたいと思います。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。

年度の第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。

同時に、改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。

マハトマ・ガンジーはかつて次のように述べました。「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親善を分かち合い、あらゆる人々の真の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力しています。ロータリアンは並みのことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織であり、ロータリアンは類まれな人々だからです。私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようと取り組むのは、このためなのです。

私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないでしょうか。幸せと健康と平和にあふれた世界をつくることができる、過去よりも明るい未来を築くことができると、私たちは信じています。理想主義者である私たちは、ロータリーの奉仕を通じてこの理想を実現しているのです。

2011-12 年度の第三の強調事項を「変化」としたのは、このためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身がなることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか。

カルヤン・バネルジー
2011-12 年度国際ロータリー会長

Kalyan Banerjee

『Smart Rotary を探して』

『Smart Rotary を探して』
～継続できるロータリークラブとは～
＋
『ガンバレ！　日本のロータリークラブ』

2011－12年度国際ロータリー第2570地区
ガバナー　立原　雅夫

3.11（2011）「東日本大震災」が起こりました。また、それに伴う二次的な災害として「原子力発電所の事故」が起きました。

この度の東日本大震災では多くの被害、災害が発生し、その後の経緯には心を痛めております。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

しかし、この未曾有の事態に直面した直後からロータリークラブとして、ロータリアンとして「何をすべきか？」「どう行動するべきか？」等、毎日のように自問自答をしていました。

ＲＣがもっとも得意とするのは『超我の奉仕』の思考であります。いままでも世界平和の貢献や水や疫病対策など世界に発信してきた『奉仕』のノウハウを効果的に発揮し、最善の救援をしようではありませんか。

わが国の経済も、変化の激しい経済状況や、新しい課題に臨む社会の構築が進んでいるなか、やや足踏み状態の脱却の兆しが見られておりました。

しかし、この災害は日本全体にさまざまな影響を及ぼし、それぞれの分野での未来への希望を持ったシナリオは大きく方向修正が必要となってきました。しかし、日本の持つ総合力（優秀な人材、技術、長い歴史に育まれてきた慣習や文化など）をもって対処すれば、早期の復興ができるはずです。そして一日も早く「明るく・楽しく・美しい」ロータリークラブライフが送れるよう頑張ろうではありませんか。

＋『ガンバレ！日本のロータリークラブ』
ガバナー方針

今また世界の社会・経済状況は大きく変化しています。日本においては震災の影響も加わりさらに複雑化しております。

１９３５年、ポール・ハリスは「世界は絶えず変化している。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。」と記してありました。

７５年たった今も、めまぐるしく変わる世界は同様です。この時代に我々も自らを見失うことなく「ロータリーは変化する時代に対応してより良い方向を目指しているのか」考えてみたいと思います。

『ロータリーって何ですか？』の
素朴な質問にあなたはどう答えますか？
今、この質問の明解な回答はなんとしましょうか？

１９０５年、シカゴでＰハリスら４人によって創立されたロータリークラブは既に１００年の歴史を越えました。その間、ロータリー活動は時代の変化とともに職業を通じた社会奉仕へ、そして世界への国際奉仕へと広がりました。そして新世代の若者にも将来を託すべき活動

を行っています。また日本ロータリーの誇る米山記念奨学制度もその一環です。
そしてロータリー活動も次の１００年に向かってＲＩ「長期計画」やロータリー財団「未来の夢計画」などを提示して、統一した方向と目的をもって運営していく決定がなされました。
このように素晴らしいロータリー活動ですが、そのすべてを明確かつ効果的に説明できるように積極的な活動を頂くなかで、１年後に皆様と共に更なる答えを見つけたいと思います。
なお、地区大会において「Ｒ川柳大会」を行います。お題は「ロータリーとは・・・・」

重点事項

①各クラブは大いに、自由に活動を！

ロータリーの基本はクラブです。地区は各クラブの活動を応援します。

数年前よりＣＬＰの導入により各クラブは独自の刷新性を含め自由に柔軟に運営できるようになっています。組織や活動内容は各地域との独自性・独創性を生かして大いに活発な活動をしてください。各クラブの会員はお互いに親睦を深め、ロータリーライフを楽しんでください。

②会員増強を！

『何かよいことを一緒にやらないか、ロータリーで！』と新会員を誘ってください。

ロータリークラブには歴史のある世界的な活動とブランドがあります。このリソースを地域の活動や他団体の協調に生かし、会員の増強を計って頂きたいと思います。若者や女性にも理解を求め、この力を大きく広めていただきたいと思います。

また現在の情報ツールを活用し「ｅ－クラブの研究委員会」を発進し、来るべき時代の新しいＲＣの可能性を探りたいと思います。

③職業奉仕から社会奉仕へ！

多くのロータリアンは職業（企業）を通じて地域社会へと大いに貢献しています。また各クラブは、地域にそれぞれ素晴らしい社会奉仕を行っています。
また、ロータリーの広報活動を通じて「公共のイメージとロータリー認知度の向上」につながれば誠に喜ばしい事であります。

埼玉県のロマンでもある「さきたま・世界遺産の推進」や自然環境をテーマに「ロータリーの森」。微笑ましい「ブライダル事業」（愛のキューピット作戦）、「アイバンク」等にも協力します。

④時代に見合った国際奉仕を！

ロータリークラブは多くの国際奉仕を行っています。代表的には「ポリオ撲滅」も「Final Inch Polio」・「End Polio Now」の標語にあるように終盤を迎えています。
また当地区の国際奉仕活動もネパールや他国への識字率向上や里親運動の支援、また地雷除去活動などの協力など、それぞれに成果を出して参りました。これらの活動も現在では地区からクラブごとに独自で計画し行動するように進展して参りました。これは地域の役割の徹底と理解、達成の成果にほかなりません。

また近年は世界中の経済的発展や安定的社会としての国際的関係のあり方に大きく変化を遂げています。またインターネットやフェイスブックなどの技術の進化発展により、交流方法や奉仕形態の内容も変わろうとしています。ロータリー活動は自らこの変化に対応させていかなければならないと思います。過去の奉仕の形態にとらわれず、新しい目的をもって国際奉仕の創造をして行きたいと考えます。

⑤次世代の青少年・青年へ！

将来おおいに活躍をしていただきたい青年達に期待して、今年も協力し活動致します。
ＲＩでは第５奉仕部門として新世代奉仕を認定しました。次世代を育てる奉仕の理念は未来の社会構成におおいに貢献できるものと思います。

地区では新世代奉仕としてインターアクト、ローターアクトやＲＹＬＡ等の支援を行います。また青少年交換プログラムの実施、Ｒ財団の国際親善留学、そして日本の誇る米山記念奨学制度など、おおいに協力支援し国際的な認識や平和の貢献に役立てていただきたいと思います。

⑥みんなで語ろうロータリー！

今年も地区では多くの会議や各種セミナーが実施されます。これには多くの皆様に参加していただき、大いにロータリーを語りたいと思います。ガバナー補佐には各グループのリーダーとしていただきます。また会長・幹事には現状把握や情報交換して頂き、多くの活動に生かしていただきたい。また各部門や委員会の会議やセミナーには各クラブの委員長に参加を要請し、リーダーシップ研修を行います。
ＲＩの推進として、各クラブの研修リーダーの確立、ＲＬＩのシステム導入など、長期的見地から地区運営を推進していきたいと思います。

⑦『Smart Rotary を探して』
～継続できるロータリークラブとは～

冒頭に掲げたように、今もたいへん早いスピードで社会が変わりつつあります。他の多くの団体、そして国家までがその構造や内容を検討し変えようとしています。

ロータリークラブも創立以来約１世紀（１００年）が経過し、次なる新世紀に向かい時代の変化にも対応できるように新プログラムの推進を計っています。ＲＩの「長期計画」（戦略的計画）が未来への基本的計画です。またロータリー財団の「未来の夢計画」もＲＩの方針と共有した目的を設定し、新補助金システムをも含め新時代への対応を推進しています。この両方がロータリーマークのように有効に機能を発揮し、新しい目的が創造されることを期待しています。

新時代に向けて大いなる夢と希望を抱き、楽しいロータリークラブになる事を目標に邁進いたします。そして、『明るく！楽しく！美しく！』を心情にロータリー活動を行います。

『Smart（賢い）Rotary を探して』
～継続できるロータリークラブとは～

『ロータリーって何ですか？』 もう一度あなたに問いかけます。＋『ガンバレ！日本のＲＣ』
［追　記］ 東日本大震災の義援にご協力を！日本ロータリーは下記のような大方針で義援をします。
① 震災孤児の支援　②「５ for 1 RC」

地区バッジデザインの由来

小江戸川越のシンボル「時の鐘」をモチーフに、小江戸川越観光親善大使でもある立原ガバナー自らがデザインしました。歴史と伝統の街を世界にアピールしたいという、誰よりも川越を愛する立原ガバナーの願いが込められています。

■ 新ガバナーへ

重いバトンを渡します

直前ガバナー
西川　武重郎

ついに立原雅夫年度にバトンを渡す時が来ました。振り返ると、私の年度は波乱万丈の年度でした。小池英輔、飯野行雄両パストガバナーの天国への旅立ちをお見送りしました。特に小池英輔パストガバナーは私の目の前で倒れられ亡くなられました。その悲しみが癒される間もなく、東日本大震災による地区大会の中止と云う苦渋の決定をしなければなりませんでした。今、全国のロータリアンから集まった約８億円の義援金をどのように使うかを私の年度のガバナー会で検討していますが、これは立原年度のガバナー会とも連絡をとりつつ歴史に残る、ロータリーらしい支援のあり方を作りださなければなりません。会員の減少も止められませんでした。それにより地区の予算の減少等で地区の在り方を変える時がきています。これを実現するためには立原雅夫ガバナーの強烈なリーダーシップが必要です。

それにしても重いバトンを貴方に渡したように思います。しかし私は貴方が揚げた「Smart　Rotary を探して」の実現のために協力を惜しみません。遠慮なく私を使ってください。そう申し上げ立原雅夫ガバナーへのエールとさせていただきます。

■ 直前ガバナーへ

波乱万丈　西川丸「利他の心で行動しよう！」を実践

ガバナー
立原　雅夫

２０１０−１１年、レイ・クリンギンスミス会長からRIのテーマ『地域を育み、大陸をつなぐ』と発表された。そして、ロータリークラブとは何する団体か？と問いかけが始まった。ロータリーの第一標語である「超我の奉仕」はロータリアンの利他的な性格を捉えているが、もっと他の人々にロータリーを知ってもらい、再確認してもらうとの方針でした。

西川直前ガバナーは、この基本的思考をさらに人間の心の価値観に応用され、幸せな未来を創るために「利他の心で行動しよう！」をテーマとして宣言されました。

氏のお人柄がたいへんに良く表現され、微笑ましいテーマでした。

昨年７月には、順風満帆で「西川丸」はご自宅裏の船着場から出帆しました。

西川直前ガバナーのご先代は、江戸を結ぶ河川での大きな舟問屋であったと聞いております。

第2570地区内の各クラブを訪問し、大きな成果や収穫を積み込み、途中いくつかの大きなイベントをこなされ順調に運行しておりました。

その終盤にさしかかったとき、３．１１のあの「東日本大震災」に遭遇されました。

日本中のロータリークラブがその対応に困惑を致しました。

しかし、西川直前ガバナーはすばやくご判断をし、被災地区への義援、また県内に非難されている方々への支援を表明し、当地区のリーダーシップを発揮されました。まさに「利他の心で行動しよう！」を実践されました。

波乱万丈だった就航も、楽しい思い出、悲しい現実、多くの方々の友情をたくさん積み込んで、一年ぶりに船着場に帰ってまいりました。たいへんな一年間でもありました。

しかし、あの笑顔、粋なおしゃれ、暖かいお人柄はすばらしい思い出になりました。

私もガバナーエレクトとして多くの経験をさせていただき、楽しい思い出となりました。ありがとうございました。

また、志木RCメンバーを中心としたガバナー応援組織はみごとな団結力で完結しました。全てのみなさまに感謝申し上げます。

ごくろうさまでした。今後も、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

■ ガバナーエレクトメッセージ

立原丸が、出航しました

ガバナーエレクト
鈴木　秀憲（吹上）

いよいよ立原丸が出航しました。既にエンジンは快適な音を立てて順調に回っています。我々乗組員は夫々の持ち場で、修練を積んでその任務に就いています。前途洋々たれ！

扨、私達は２月28日の地区チーム研修セミナーで、RI会長エレクトが掲げた三つの協調事項を踏まえた、ガバナーエレクト方針に接し、感銘を以って受け止めました。

それから半月、東日本大震災が発生し、その影響に日本中否世界中が震撼としました。

立原ガバナーエレクトはいち早くこの事態を重視し、地区チーム研修セミナーやPETSで発表したガバナーエレクト方針へ、日本復興を目的とした新たな奉仕プログラムを各部門に盛り込んだ「新たな方針」をガバナーメッセージとして打ち出しました。

我々はこの新たな方針のもと、立原ガバナーを中心に、RIが打ち出した「長期計画」やロータリー財団の「未来の夢計画」をも含め、全てに積極的に取組もうではありませんか。

私もガバナーエレクトとして、時には立原ガバナーを支えながら、一面では立原ガバナーに習いながら研鑽に励みたいと考えています

■ 研修リーダーメッセージ

クラブの活力は、会員研修から

地区研修リーダー
加藤　玄静（本庄）

いよいよ立原雅夫年度のスタートであります。ロータリーを取り巻く環境の厳しい中、新ガバナーに期待するものは大であります。１０６年を迎えた国際ロータリーも、組織改革、会員減少、クラブのあり方、長期計画の立案、会員研修等長期中期の問題が山積されております。

特にその中でも「会員研修」がクローズアップされ、２０１０年の規定審議会では審議番号１０－０１で、「研修・リーダーシップ委員会の設置をクラブに奨励するようRI理事会に要請する件」が採択されました。

当地区では、二年目のパストガバナーが地区研修リーダーに任命され、研修委員長になります。大きな任務は、「地区チーム研修セミナー」、「会長エレクト研修会」、「地区協議会」、「会員増強セミナー」、新年度に入っては「財団セミナー」、「部門別セミナー」、「地区指導者育成セミナー」、「クラブレベルの指導者育成研修」、他適宜地区における諸研修会の企画立案であります。

非常にハードな委員会でありますが、今の会員資質を考えるとき大きな役割をガバナーより与えられております。本来は各ロータリークラブで研修やロータリー情報を行うべきですが、会員数やクラブの現況を見るにクラブ単独で実施しているクラブは少なく、地区の大きなクラブ支援であります。

特に新入会員の研修は大切であります。同時に研修の方法も従来と変わり、「RLI」ロータリーリーダーシップ研究会方式が誕生し、昨年度西川ガバナーの英断により組織に加盟し、本年度は地区単独で研修会を開催いたします。

地区とクラブのパイプを図りながら、ガバナー補佐並び部門委員長の協力を仰ぎ会員研修に努めていきたいと委員会一同張り切っております。

もう一度見直そう　ロータリーの理念と実践

第１グループ　ガバナー補佐
馬場　弘（川越）

今年度、第１グループ、金子圭典ガバナー補佐の後を受けて任命されましたので、一年間よろしくお願い致します。

東日本大震災に対して、一人一人がいまの自分の足元を見つめ直し、どんな小さな事でも自分たちの役割を果たし、自分に何が出来るのかという問いがさまざまに発せられています。ロータリアンとして考える事はたくさんあると思われます。ロータリーの何ものかを解せずして会員としての本分を発揮することは出来ませんし、又、理論だけ分っていても実践が伴わなければ真のロータリアンではないし、社に無に実践に突進しても、それが理念にかなわなければロータリー活動とはなりません。一人一人のロータリアンと各クラブが、実り豊かな一年になりますように皆様のご協力をお願い申し上げます。

ロータリアンをバネとして

第２グループ　ガバナー補佐
坂本　元彦（富士見）

ロータリー全体の活力が低下しているといわれて久しい今、改善していくには一人一人のロータリアンの力を高めることが重要な事でしょう。一つの方法として立原雅夫ガバナーが提唱された地区テーマ「Smart Rotary を探して」ということをバックボーンとして、又ロータリアンであるという事をバネとして自己研鑽に励み職業奉仕を強化する事で良い結果を生むのではないでしょうか。職業人がロータリアンになったというより、ロータリアンが職業人になったとする方がより良く強い職業人になれる気がします。この一助となる為にも研修会等を通じ地区と各クラブとの良きパイプ役になれます様願っております。一年間よろしくお願いします。

ガバナー補佐として

第３グループ　ガバナー補佐
井花　富男（新狭山）

バネルジー RI会長の強調事項、「強い家族を築く」、「一番得意とするところの継続」、「変える必要のあるものは変える」、立原ガバナーの「Smart Rotary を探して」を踏まえ、第３グループ歴代ガバナー補佐諸氏が築いてこられた地区とクラブ間の良きコミュニケーション環境を維持、補強しながら、地区担当委員会と連携し、RI、地区の目標や諸プログラムなどが円滑、効果的に実施され、クラブの活性化に役立てます様サポートできたらと思っています。またIM等を通じクラブ同士間の情報交換や親睦の増進、近い将来地区を担うリーダーとなる人たちの発掘、そして次年度ガバナー補佐へスムースなバトンタッチができたらと願っています。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

地域へ奉仕で強いロータリー

第４グループ　ガバナー補佐
山田　勝治（本庄南）

立原ガバナーに任命され、私の役目はガバナー方針をクラブへの伝達と考え、役立ちたく行動すべしと相成ったところです。「ガンバレ！日本のロータリークラブ」は、敷居の高い組織の現状打破、まず自我を捨てる（俺がクラブ）。現在　世界からポリオ撲滅で終息宣言になろうとしているこの事業は立派でありませんか。今　日本では東日本巨大地震で多くの被災者で大変な状況、復興に動き出しました。ロータリーが一番困っている東日本の人々に資金（日本赤十字、社会福祉団体に寄金ではなく）、労働、震災孤児等に全精力を注いで奉仕したらロータリーが理解され、感動し入会したいロータリーになり、組織強化と理解を深めるチャンス。

自己を磨き、クラブと社会の活性化を！

第５グループ　ガバナー補佐
鈴木　秀憲（吹上）

RI会長が協調事項として唱えた「家族・継続・変化」を踏まえた当地区方針を皆様と共に理解し、クラブ目標を達成し結果として地区目標が達成できる様、共に努力致しましょう。

私達は社会へ奉仕したいと云う理想を以ってロータリアンになりました。そして自己研鑽し、各クラブの資質向上に努めている事と存じます。地区は各クラブの活動を応援します。

ガバナー補佐はガバナーの意とするところを各クラブへお伝えし、又各クラブからの情報をガバナーへお伝えします。又グループ内他クラブの情報や、地区内他グループの情報もお伝えしたいと考えております。これらを参考にされ、先ずは夫々のクラブが更に活性化する事を願い、結果としてグループ全体ひいては地区全体が大いに活性化する事を願っております。

2011-12年度　国際ロータリー第2570地区　立原ガバナー年度

顧　問

高山　孝（坂戸）

諮問委員会

福島　良治（深谷）

今泉　清詞（川越）

田中　一郎（坂戸）

金子　千侍（秩父）

大舘　清次（朝霞）

寺山　栄一（深谷東）

梅沢　定彦（所沢）

髙橋　福八（本庄）

野中　弘之（熊谷東）

鈴木　勲二（和光）

石川　嘉彦（入間）

真下　和男（東松山）

加藤　玄静（本庄）

西川　武重郎（志木）

指名委員決定のご報告

国際ロータリー細則第13条第2節第2項、及び第3項に基づき、
ガバナー指名委員会の5委員が決定致しましたのでご報告申し上げます。

指名委員長	副委員長	委　員	委　員	委　員
鈴木　勲二（和光）	石川　嘉彦（入間）	真下　和男（東松山）	加藤　玄静（本庄）	西川　武重郎（志木）

■ ロータリーの友・ご挨拶

ロータリー情報源の宝庫として活用しよう！

地区代表委員
栗山　昇（朝霞）

ロータリアンの三大義務の一つである「ロータリーの友」の購読無くしてロータリアンを語る事なかれ。各クラブの奉仕活動の記事を頂き、「ロータリーの友」への寄稿に努めたい。

■ 財務委員会・ご挨拶

効果的に執行され最大限の効率運営を

財務委員長
大野　栄治（志木）

地区活動予算が縮小されてきています。限られた予算を効果的に執行され最大限の効率運営をお願い致します。

■ 部門委員長・ご挨拶

ロータリー情報源の宝庫として活用しよう！

クラブ奉仕部門
山口　茂（熊谷南）

会員純増、例会充実、クラブ拡大による奉仕活動会員純増１名、ロータリーを知らない方々に認知努力、広報活動を積極的に実施各クラブの発展の為に例会はどうあるべきか、例会プログラム充実の努力をお願い致します。

ロータリーの源流は職業奉仕

職業奉仕部門
細井　保雄（行田さくら）

今年度はロータリーの源流を学びます。各クラブに協力して頂き我々の生業を編纂し、異業種交流に反映させます。高校生感動体験プログラムは県との共同事業として今年も実施いたします。

社会奉仕は地域と伴に

社会奉仕部門
田中　八束（狭山中央）

歴史に残る、未曾有の災害に見舞われ、「このような時こそロータリー」の本領を心して、地域社会との連携を深め、地域で必要とする社会奉仕を見直し、新たな奉仕を展開します。

国際奉仕を身近で体現実践をしましょう

国際奉仕部門
茂木　正（本庄）

更なる奉仕を地域から実践し、国際的なものにつなげよう。国際奉仕は私たちの身近に在ります。奉仕を実践し次の世代に繋げて自国の発展に寄与できるような活動を展開してゆきます。

未来のロータリアンにご協力を

新世代部門
野口　健吉（東松山むさし）

立原年度にて、新世代部門委員長を任命されました、東松山むさしＲＣ所属の野口と申します。五大奉仕として新たに新世代部門が加わり、期待に応えられる年度にしたいと思いますので宜しくお願いします。

FUTURE VISION PLAN 未来の夢計画

ロータリー財団部門
松本　光司（坂戸さつき）

ロータリー財団創設第二世紀に向けてＲ財団のＰＧが大きく変わります、Ｒ財団・地区・クラブとの覚書（ＭＯＵ）の締結を要請され、立原年度は此の移行期に際し大変重要な年度となりました。クラブ支援を通じてＲ財団への理解を深めて頂きたいと思います。

地区目標額3,500万円

米山記念奨学部門
大澤　衞（和光）

総ての会員、一人ひとりのご協力をお願いいたします。なお、普通寄付も「所得控除」の対象となっておりますので、クラブ事務局さんよりのご報告をお願いいたします。

こころの中を見つめよう　博愛を広げるために

■ 委員会・ご挨拶

会員増強・クラブ拡大委員会
渋澤　健司（本庄）

「何か良い事をしよう！」職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を通し「Something Great　あなたも一緒に行動しよう 」仲間を増やしたいと思います。

広報・記録委員会
内山　明夫（東松山むさし）

ロータリーの奉仕活動を広く社会に認知してもらう為に最も重要なのが広報報活動です。宜しくお願いします。

職業奉仕委員会
田代　充雄（熊谷西）

「ロータリーとは何ですか」の問いに対する答えを企業経営者の視点により探してみたいと思います。

高校生社会体験活動委員会
五十嵐　敦子（本庄）

青少年の生きる力は、学校と家庭と地域との共同の営みから生まれます。皆様のご協力をお願い致します。

社会奉仕委員会
木藤　文雄（坂戸）

地域、社会のニーズに即した事業を目指す。「東日本大震災」の悲劇を風化させず継続的復興支援にご協力を！

ブライダル委員会
醍醐　治江（志木柳瀬川）

ロータリアンが推薦する紳士淑女が参加する、安心なブライダル・パーティーを開催していきたいと思います。

世界遺産登録推進委員会
新井　啓介（行田さくら）

地区を挙げての社会奉仕活動として、さきたま古墳群のめざせ世界遺産運動にご協力をお願い致します。

国際奉仕研究委員会
飯田　富夫（志木）

国際奉仕研究委員会は、日豪青年相互訪問に変わり新しいプログラム、新しい相互訪問の形を作りたいと思います。

世界社会奉仕委員会（WCS）
新島　修一（深谷ノース）

ＷＣＳは世界の中で困っている人たちを支援する活動をしています。「顔の見える支援」をめざします。

アクト委員会
武藤　典夫（志木）

地区両アクトクラブと学校先生方、提唱クラブ等と連携を密に活性支援の推進担当員として頑張りますので宜しくお願いします。

青少年交換委員会
宮原　克平（志木）

青少年交換プログラムの４２年目に入ります。地区各クラブの皆様方のご協力をお願い申し上げます

ライラ委員会
島田　敏郎（富士見）

昨年度に引き続き、地域の青少年指導者養成のためのライラデーにご支援ご協力をお願い致します。

Ｒ財団推進未来の夢委員会
柴崎　典一（深谷）

Ｒ財団の未来の夢計画は再来年実施されます。本年度は準備と方針を考える年です。皆様のご協力をお願いします。

Ｒ財団補助金奨学委員会
茂木　聡（本庄）

皆様のＲ財団へのご支援に感謝し、本年度も素敵な国際親善奨学生を派遣できるよう活動を進めて参ります。

米山記念奨学推進委員会
井上　豊（秩父）

米山奨学生は、すぐに役立つ、日本人のよき理解者です。皆様のご支援ご協力を切にお願い致します。

米山記念奨学学友委員会
竹間　暎（東松山）

西川年度に続き立原年度もご指名を受けた東松山ＲＣの竹間です。皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ＯｎＴｏ バンコック委員会
栗林　茂（川越）

2012 年５月のバンコック国際大会は、立原ガバナーと共に地区ナイトを用意して皆様をお待ち致します。

e-club 研究特別委員会
池袋　賢一（川越）

新たな取組みとして話題のe-clubです。１地区２クラブ設立可能となりましたので研究を進めることとなりました。

■ 地区幹事、副幹事・ご紹介

幹事　**小谷野　和博**（川越）

立原年度のスタートにあたり一言ご挨拶申し上げます。
東日本大震災後のロータリーの奉仕活動の方向性は大きく変わりました。
第 2570 地区も、立原ガバナーの呼びかけにより、地区特別事業費のご負担を皆様にお願いしておりますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。
そして地区一丸となって、ロータリーの団結力と実行力を内外に示していきましょう。
立原ガバナーは、多才で実行力を持ったリーダーです。
必ずや皆様のご期待に副える成果を挙げるものと確信しております。
私は地区幹事として、ガバナーが思う存分その力が発揮できるよう、陰から支えて行きたいと思います。
そして、立原年度が、地区内各クラブにとって、会員の皆様にとって、実り多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。
一年間よろしくお願い申し上げます。

クラブ奉仕部門担当副幹事
小山　義文（川越）

職業奉仕部門担当副幹事
片山　幸雄（川越）

社会奉仕部門担当副幹事
小高　章（川越）

国際奉仕部門担当副幹事
岡本　正巳（川越）

新世代部門担当副幹事
山口　滝太（川越）

Ｒ財団部門担当副幹事
笛木　弘治（川越）

米山記念奨学部門担当副幹事
坂口　孝（川越）

会計担当副幹事
西川　孝博（川越）

月信担当副幹事
山田　禎久（川越）

エレクト担当副幹事
丸岡　章二（吹上）

１名当たり半期地区分担金

区　分	金　額
ロータリー連絡費	100円
ロータリー文庫運営費	150円
地区大会分担金	4,000円
地区協議会運営費	470円
ガバナー事務所運営費	2,250円
地区運営費	3,230円
アクト委員会費	220円
青少年活動費	500円
地区奉仕活動費	3,180円
地区特別事業費	5,000円※
合計	19,100円

※東日本大震災復興支援のため、1 名当り年間 1 万円を分担して頂きます。（2011 ～ 12 年度限り）2011 ～ 12 年度ガバナー会で取り纏め、ロータリーの顔が見える形での支援事業を行います。

小・江戸歴史探訪 その１

川越まつり（上）

本欄では一年間にわたり、小江戸川越の歴史や文化についてご紹介して参ります。まず今号と次号では、川越の行事の中でも最も広く知られている「川越まつり（川越氷川祭礼）」について、その発祥から現在までを追ってみたいと思います。

川越総鎮守　氷川神社

◇農耕と祭り

農耕、とくに稲作を中心に発展した我が国においては、人々の「祈り」は概して公のためのものでした。作物の実りは太陽・雨・風などの人知を超えた力（神）によるものと考えられ、さらに豊作凶作の違いは自分の田畑のみに起こるものではなく、共同体全体が等しく関わるものであったからかもしれません。そのため、人々は折々の祭りを通して地域の神々に共同体全体の安寧と繁栄を祈願したのです。春の祭りは豊作を祈願し、秋の祭りは収穫を神々に感謝するためのものです。

◆川越氷川祭礼

川越氷川祭礼は今から３６０年前の慶安年間に時の川越城主が藩領の総鎮守である氷川神社に神輿などの祭具を寄進し、神幸祭を始めたことがその起源となっています。神幸祭とは、祭りの日に神輿に乗られた神様が氏子区域を見まわり、またご神徳を振り撒きながら巡幸される祭礼のことをいいます。

◇川越氷川神社

川越の総鎮守氷川神社は古墳時代の欽明天皇の御代に創建されたと伝えられます。社伝によれば創建の日は旧暦９月の１５日。川越氷川神社ではこの日を一年間で最も重要な日とし、創建以来この日（新暦になってからは１０月１４・１５日）に例大祭を行って来ました。川越の住民にとっては、長らくこの日こそが川越の祭礼日でありました。

◇川越氷川祭礼の成立

徳川幕府が開かれると、川越城は江戸を守るために重要な位置にあることから、幕府重臣が歴代の城主を務め、城下も次第に整備されてきました。しかし、寛永１５年（１６５８）１月の大火により、城郭をはじめ城下の大半が焼失されてしまいます。

この状況下、城主となったのが幕府老中を務めていた松平伊豆守信綱です。信綱は慶安元（１６４８）年から本格的な城の再建拡張と城下十ヶ町四門前郷分の町割りに取り組むとともに、総鎮守氷川神社に神輿２基・獅子頭２基・太鼓・法螺・宝蔵といった祭礼道具を寄進しました。神幸祭は慶安４（１６５１）年の城下十ヶ町の成立に伴い藩の命令で始められ、それまでの氷川神社秋季大祭に神幸祭を取り入れた大祭礼化を図り、各町挙げて趣向を凝らした風流を供奉させるかたちをとりました。現在広く知られる川越祭りの山車は、氷川神社の神幸祭の後につき従う踊り屋台や仮装行列といった練り物が発展したものです。

≪次号につづく≫

（山田禎久 地区副幹事（月信担当）／川越氷川神社宮司）

氷川神社　例大祭

氷川神社　神幸祭

氷川神社　神幸祭

文政９年（1826）の氷川祭礼の様子を描いた絵巻の一部。

7月・8月のスケジュール

2011年7月		
1	金	第一回ガバナー会議（ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ高輪） ロータリーの友編集会議（ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ高輪）
9	土	第一回諮問委員会（川越ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ） 年度初地区役員合同会議（川越ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ）
10	日	米山記念奨学部門セミナー（国立女性会館）
16	土	広報・記録セミナー（国立女性会館）
18	月	海の日
19	火	公式訪問－朝霞ＲＣ
20	水	公式訪問－ふじみ野ＲＣ
21	木	公式訪問－入間ＲＣ
23	土	社会奉仕部門セミナー（狭山市立勤労福祉ｾﾝﾀｰ）
24	日	インターアクトクラブ年次大会（星野高等学校） 青少年交換委員会＞派遣生第１次選考試験
27	水	公式訪問－志木ＲＣ
28	木	公式訪問－東松山ＲＣ・小川ＲＣ・東松山むさしＲＣ
29	金	公式訪問－熊谷ＲＣ

8月		
2	火	公式訪問－所沢西ＲＣ
3	水	公式訪問－飯能ＲＣ
4	木	公式訪問－坂戸ＲＣ・坂戸さつきＲＣ
6	土	職業奉仕部門セミナー（ｷﾝｸﾞｱﾝﾊﾞｻﾀﾞｰﾎﾃﾙ）
8	月	公式訪問－熊谷西ＲＣ
9	火	公式訪問－深谷ＲＣ
10	水	公式訪問－熊谷東ＲＣ
14	日	米山記念奨学部門＞秩父音頭祭り参加
15	月	↓
26	金	公式訪問－和光ＲＣ
28	日	国際奉仕部門セミナー 青少年交換委員会＞来日学生第１回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ
29	月	公式訪問－川越中央ＲＣ
30	火	公式訪問－秩父ＲＣ

文庫通信（285号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー文献より

◎「ドイツの『ROTARY MAGAZIN』と『ロータリーの友』」…… 織田吉郎 ……〔2011〕 1P
（D.2790 月信）
◎「日本人の奉仕の心」…… 延原　正 ……〔2011〕 2P
（D.2690 地区大会記念誌）
◎「『ロータリーの心と原点』～基本に返ろう」…… 廣畑富雄 ……〔2011〕 3P
（D.2690 地区大会記念誌）
◎「識字率向上が意味するもの」…… 小林完治 ……〔2011〕 1P
（D.2690 月信）
◎「CLP 導入の現状とクラブ活性化計画」…… 川岸洋一 ……〔2011〕 2P
（D.2510 月信）
◎「ロータリーの曙」…… 田中　毅 ……〔2011〕 4P
（米山梅吉記念館館報）
◎「新世代育成」…… 片山主水 ……〔2010〕 4P
（奉仕の理想―ロータリーの心と形）
◎「一以って貫く」…… 菅　正明 ……〔2010〕 8P
（論語でロータリー）

［申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前１０時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

ロータリーの川柳募集

テーマ「ロータリーとは」

なぞなぞ的出題ですが、あなたのロータリーライフで思ったこと、面白いことなど自由に作句して下さい。
たのしい作品をお待ちしています。
１回の投稿は３句まで。

表紙の絵の紹介

時の鐘は、川越のシンボルでもあり蔵造りの街並の中心地にあり、木造でその高さは約十六メートル余りあります。当初の建物は約四百年前、寛永年間に城主酒井忠勝が建てたといわれ、その後たびたび建て替えられ現在のものは四代目。今も一日四回、市民に時を知らせ親しまれています。

新構造会長　県美術展審査員
日本美術家連盟会員
アトリエ　川越市岸町１－４８－１２
古川泰司（元川越南 RC）

国際ロータリー第2570地区　2011-2012年度ガバナー　立原雅夫

ガバナー事務所　〒350-1123　埼玉県川越市脇田本町11-27-2F
TEL 049-293-6522　E-mail: info2011@mail.rid2570.gr.jp
FAX 049-293-6523　URL: http://www.rid2570.gr.jp/2011/